

第11回 夏の教育セミナー

教育で日本の未来をつくる

デジタル環境変化、高校では—

小・中学校の「GIGAスクール構想」が2期目を迎える中、高校を取り巻くデジタル環境も大きく変化している。

生成AIの教育活用研究 虚偽情報を扱う授業も

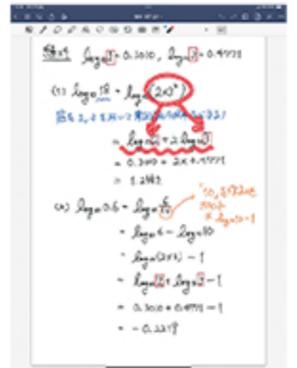
昨年12月、東京都立活用してほしい」と呼ばれた「情報1」の授業。同校は、東京都の生成AI活用パイロット校として、教育活動が目標だ。思考の導入している。



生成AIに入力する生徒。昨年12月、都立小岩高校で。

端末で協働的な学び支援 解法共有、話し合う時間が増

多くの生徒が使ったGoodnotes。ポイント機能で一時的な書き込みが可能。生徒同士で話し合う時間が増え、協働的な学びが実現している。



英語

要旨つかむ速読、言い換えを指導

英語は新学習指導要領で「聞く」読む「話す」書くの統合的な言語活動を充実することや、「話す」「書く」の発信力を強化することが目指された。

新共通テスト 変更のポイント

- 4技能を統合した総合的な英語力を評価
話したり、書いたりする場面設定の問題を重視
変更点



渡邊教諭の授業は、生徒の発言を促すため全員を向かい合わせて座らせる＝提供写真

クロスロード 交差する視点 高校で何を学び、大学でどう確認？

平成24年ごろから検討が進められた高大接続改革の当初、二つの課題が指摘されていた。一つは当時のAO入試や推薦入試で知識・技能が適切に問われておらず、大学に基礎学力の担保がされていない新入生が増加していたことである。

※「第11回 夏の教育セミナー」に先駆けて高校教育や大学入試に関する情報を掲載します。

いよいよあと10日でスタートです！ お早めにお申し込みください！

第11回 夏の教育セミナー 2024年実施
～教育で日本の未来をつくる～
主催：日本教育新聞社／株式会社 ナガセ

8/1 東京会場 ベルサール新宿ブランド
8/5 大阪会場 スイスホテル南海大阪
参加無料
8/8～31 オンライン配信

全国の高等学校の先生から、続々とお申し込みをいただいています。
Vol.2 昨年のアンケートから参加者の声を紹介します

生成AIの利用の仕方を惜しみなく教授してくれました。
対面のセミナーが以前より少なくなっているので、会場での開催は大変ありがたい。
探究を進めるにあたって一番苦労していた部分の対応を学ぶことができ、とても感銘を受けました。
他校の実践的な取り組みを知ることができ、とても参考になりました。
奈須先生の著作を読んだことがありますが、今回のセミナーで講演を聞いて、より理解が深まりました。